

箱根町水道事業運営協議会議事録

主席者

委員：神戸信由、廣枝三千ル、酒寄勝男、安藤雅章、北野谷克美、松井弘子、森川修一

町側：町長、富田環境整備部長、太田上下水道温泉課長、市川上水道担当課長、福田課長代理、若村副技幹、北村副技幹、篠崎主任主事

進行区分	内 容
北村副技幹（司会）	<p>本日の会議につきましては、箱根町水道事業運営協議会条例第6条第2項に、委員の過半数の出席者により、会議が成立することとなっております。本日は委員さん7名の方々に出席をいただいておりますので、本日の会議は成立していることをご報告申し上げます。</p> <p>はじめに、神戸会長からごあいさつをお願いいたしますと存じます。</p> <p>（会長あいさつ） （町長あいさつ、決算概要説明） （町側職員の自己紹介） （会長議事進行、町長退席）</p>
神戸会長	<p>議題1、平成20年度箱根町水道事業会計決算の状況について、町側から説明をお願いします。</p> <p>（太田課長から内容説明後、質疑に入る）</p>
神戸会長 北村副技幹	<p>営業未収金の状況についてお願いします。</p> <p>未収金につきまして、19年度は、4,700万円余り、今年度は約3,900万円余りで、約700万円減となりました。現年度は、2,080万6千円、過年度は1,898万円となっております。</p>
安藤委員	<p>19年度の振替の最終日が3月28日の金曜日となり、振替が1,000万円ありました。徴収率の問題がありますが、口座振替は月末ですか。</p>
市川担当課長	<p>28日締めで、30日、31日に報告をいただいている訳ですが、28日の後が土日になりますと、翌月の1日から3日になります。3月31日に水道事業会計を締めるので、報告がない場合は、未収金になります。</p>
北野谷委員	<p>5,000万円ほど利益がでていますが、①収入、支出のバランスを考えて、将来的に現行の水道料金でよろしいか。②19年度から28年度までの事業計画の内容で、大きな事業がありますか。</p>
市川担当課長	<p>平成19年度に10カ年の基本計画書をたてまして、新規要素は、クリプトの問題がありまして、水源の疑いところを膜ろ過や紫外線処理などの事業、老朽管の計画的に整備、平成3年に設置した遠方監視装置の整備、各地区の配水池について、耐震に耐えられないので計画的に整備を図っていきます。内部で協議しまして、24</p>

進行区分	内 容
市川担当課長	年ごろに、事業が本格的になったころに、水道料金の料金改定が必要ですが、使用の動向をみきわめながら、料金収入のどのようになるのか、毎年調整しながら整備していきたいと考えております。
北野谷委員	基本的には整備計画の中で考えて、当分の間は現状で進めることでよろしいですか。
市川担当課長 安藤委員	そのとおりです。 漏水探知機を購入しましたが、漏水を簡単にみつける機械なのですか。
市川担当課長	わかりやすく説明しますと、聴診器を道路上にあて、漏水しますと水圧でかなり音がしますので、漏水のポイントつかんで修理をおこないます。漏水は簡単に見つかりませんので、探知機で位置を確認し、ドリルなど道具を使ってポイントを開けて場所を確定します。たとえば、国県道ですと費用が掛かるで、ある程度機械で場所を絞りこみます。緊急な時に職員が調査をしながら漏水ヶ所を絞り込む機械でございます。
神戸会長	漏水機は、普段使用しますか。
市川担当課長	漏水は、地表にでたり、濡れたところがありますと、ベテランと初心者とペアで漏水探知をあたって、ベテラン職員が探して、初心者の職員に聞かせて勉強させます。機械も高いのですが、勉強も必要だと思います。
北野谷委員	一般建設改良事業費の配水池水位更新について、どうということですか。
市川担当課長	配水池にタンクに平均4 m位の水深がありますが、水位が下がってくるということは、流入で事故があるのか流出の方で事故があるのか見極めをするため、水位計はかなり重要で、整備しないと供給に対し不安がございます。ポンプの起動も水位によって変わりますので、定期的に点検・修繕し正確なものをつけることでございます。
安藤委員	16 ページについてですが、人口も給水も減っているが、加入金が増えているのはどういうことですか。
市川担当課長	加入金でございますが、13ミリの口径が16件加入申し込みございまして、1件が10万円に消費税をかけていただきます。20ミリが25件、改造が2件含まれまして15万円の加入金です。25ミリが13件、20万円の加入金、40ミリが1件改造でございます、約40万円、50ミリが1件で56件の加入申し込みがありました。今回は、まとまった申し込みがありませんので、個々になります。
安藤委員	宮ノ下の関係は、今年度、来年度ですか。
市川担当課長	今年度です。申し込みとしては、100ミリの量水器と面積割りで約1,600万円になります。

進行区分	内 容
<p>太田課長</p> <p>北野谷委員</p> <p>市川担当課長</p> <p>北村副技幹</p>	<p>加入金が増えて、収入が減るということですが、大口の使用者について閉鎖が多くありまして、それが大きく減ったということでご理解願います。</p> <p>家庭用の栓数が90個減っているが、湯本の水量が減っているの、湯本地区と考えるとよいのですか。</p> <p>湯本地区については、業務量について自己水の切替と節水を考えております。</p> <p>(富田環境整備部長あいさつ)</p> <p>次の協議会の開催は、2月末頃予定をしております。</p>

